

# だいすきなおにいちやん

千葉県立星久喜小学校一年

こいづみせりな

わたしのおにいちやんは、しようがく3ねんせいで、じゅうどしがいじです。ひとりで、たべたり、のんだり、あるいたりすることができます。ことばも、はなすことができません。でも、わたしは、おにいちやんのことが、だいすきです。いつも、かぞくみんなで、おにいちやんのみのまわりのおてつだいをします。

おにいちやんにも、できることがたくさんあります。

あさ、めをさますと、ろけっとみたいに、とんでいきそながわらいます。「せいやくーん」と、なまえをよべば、「はーい」のくちのかたちをして、へんじをします。そして、たまに、おおきなこえをだして、ためいきをつきます。すると、また、かぞくみんながわらいます。くしゃみをするときも、とびうおみたいに、からだがふとびます。そしてまた、かぞくみんながわらいます。

おにいちやんが、いつもけんこうでいることは、とてもたれています。

いへんなことだと、わたしはおもいます。だから、わたしは、じぶんのできるおてつだいを、まいにちしています。おにいちやんが、うんちをしただけでも、かぞくみんながよろこびます。おにいちやんが、すこし、こえをだしただけでも、かぞくみんなが、よろこびます。おにいちやんが、わらったかおをしたときも、かぞくみんながよろこびます。

わたしは、いつも、こうおもいます。おにいちやんは、なにもいわないけれど、いつもかぞくをみまもつてくれている。そして、からだがふじゅうでも、がんばつていてるおにいちやんを、いつもみているから、わたしは、つらいことがあるときでも、それをこえて、こえて、はしっていくことができる。

おにいちやん、わたしを、いつもげんきにしてくれて、ありがとうございます。そして、いつもかぞくを、あかるくしてくれて、ありがとうございます。